



RUN:5km
BIKE:30km
RUN:5km



南関東ステージ

川崎港東扇島大会 兼 日本学生デュアスロン選手権

2015/2/1



Calfman Japan
 DUATHLON GRAND PRIX SEASON12

第1戦：近畿ステージ	2014/11/2(日)	グリーンピア三木/兵庫県三木市
第2戦：東海ステージ	2014/11/23(日)	国営木曽三川公園/岐阜県海津市
第3戦：太平洋いわきステージ	2014/11/30(日)	NISSANいわき工場/小名浜港湾道路
第4戦：九州ステージ	2014/12/7(日)	上野原縄文の森/鹿児島県霧島市
第5戦：北関東ステージ	2015/1/18(日)	国営武蔵丘陵森林公園/埼玉県比企郡
第6戦：南関東ステージ	2015/2/1(日)	川崎港東扇島/神奈川県川崎市
最終戦：チャンピオンシップ	2015/3/22(日)	国営木曽三川公園/岐阜県海津市



インターネットからお申込み・決済できます
www.calfman.jp

主催 Calfman Japan 大会実行委員会、公益社団法人日本トライアスロン連合
 競技主管 神奈川県トライアスロン連合
 競技協力 日本学生トライアスロン連合
 協賛 株式会社ジー・オー・エヌ、江崎グリコ株式会社、日本バナナ輸入組合、有限会社スポーツアシスト、TYR、
 有限会社スタイルバイク、カリフォルニアレーズン協会、株式会社K2ジャパン、他
 協力 JTU関東ブロック協議会、JTU東京ブロック協議会



ごあいさつ



大会会長
公益社団法人 日本トライアスロン連合会長
岩城 光英

カーフマンジャパン デュアスロングランプリ・シーズン 12 が開催されるにあたり、トライアスロン・デュアスロンファミリーを代表して、お祝いを申し上げます。

ランとバイクで競技されるデュアスロンは、大会数が年々増加傾向にあり、日本選手の活躍も目立ちその注目度は高まりをみせています。このようななか、今年度も国内唯一のデュアスロンシリーズレースが全国各地で開催されます。これらの大会を通じ、デュアスロンの普及と強化が促進され、世界への挑戦の第一歩となることは大きな楽しみです。

私達がめざす全国レベルでのデュアスロンの普及と強化促進において、選手たちが様々な思いを込めてレースに挑戦する姿は、日本のスポーツ発展の原動力となるものです。

2016年に希望郷・いわて国体より、トライアスロンが正式競技としデビューします。そして2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、トライアスロンとパラトライアスロンの選手たちが活躍できるよう、開催地からの熱気と声援を期待しています。

本大会の開催にあたりましては、ご協力をいただいた多くの企業・団体、地域のボランティアの皆様にお礼を申し上げます。カーフマンジャパン デュアスロングランプリが、日本のデュアスロンの目標として、未永く開催されますよう期待し、大会の成功をお祈りいたします。

ごあいさつ



大会副会長
日本学生トライアスロン連合会長
宇佐美 彰朗

第11回日本学生デュアスロン選手権が神奈川県川崎市の川崎港東扇島で、「カーフマンデュアスロングランプリ シーズン12 第6戦 南関東ステージ」と併催にて開催されることは大きな喜びです。

首都圏から近く、デュアスロン競技の絶好のロケーションである川崎港東扇島で、カーフマンシリーズ最大規模のステージの場をご提供いただいたことに対し、厚く御礼申し上げます。

本大会は今年で11回目となりますが、デュアスロンの歴史はトライアスロンとほぼ同じ歴史を持つスポーツであり、毎年世界選手権も開催されています。

この競技はトライアスロンとは異なり、スイムがなく、代わりにバイクを間にはさんでランニングを2回行うのが特徴です。

2020年に東京でのオリンピック開催が決定しましたが、マラソン競技レベルの高い日本人にとっては、世界の舞台での活躍に希望を抱かせてくれるスポーツであるといえます。

いずれはトライアスロンと並び、オリンピックの舞台に立ち、金メダリストの輩出も期待できる競技として期待しております。

本大会では、参加する学生諸君が、個人的に素晴らしい競技を展開することはもちろん、各大学の名譽を背負って力一杯戦い、その成果を見せて欲しいと強く願うしだいです。

最後になりましたが、本年も大会開催に多大なご協力をいただきます川崎市、神奈川県トライアスロン連合をはじめ、関係各位の皆様に対し、心より感謝を申し上げます。ご挨拶といたします。



Calfman Japan 南関東Stage DUATHLON GRAND PRIX SEASON12

川崎港東扇島大会 兼 2014年度 日本学生ディアスロン選手権

大会概要

開催期日	2015年2月1日(日)
開催場所	川崎港東扇島東公園と周辺道路
主催	Calfman Japan 大会実行委員会・公益社団法人日本トライアスロン連合
競技主管	神奈川県トライアスロン連合
競技協力	日本学生トライアスロン連合
後援	川崎市、公益財団法人川崎市スポーツ協会、日刊スポーツ新聞社
協力	株式会社ジー・オー・エヌ、江崎グリコ株式会社、日本バナナ輸入組合、 有限会社スポーツアシスト、株式会社K2 ジャパン、TYR、 有限会社スタイルバイク、カリフォルニア・レーズン協会、他 JTU 関東ブロック協議会、JTU 東京ブロック協議会

大会役員

大会会長	公益社団法人日本トライアスロン連合会長	岩城 光英
大会副会長	神奈川県トライアスロン連合会長 日本学生トライアスロン連合会長	河野 太郎 宇佐美 彰朗
大会名誉顧問	川崎市議会議員	粕谷 葉子
実行委員長	神奈川県トライアスロン連合理事長	渡邊 英夫
レースディレクター	ネオシステム株式会社	清本 直
大会技術代表	神奈川県トライアスロン連合	海野 浩
エリート審判長	神奈川県トライアスロン連合	小林 和矢
エイジ審判長	神奈川県トライアスロン連合	松村 一彦
審議委員	渡邊 英夫 (JTU社員・神奈川県連合) 清本 直 (大会実行委員会) 海野 浩 (技術代表)	
事務局長	ネオシステム株式会社	清本 直

大会事務局：〒206-0802 東京都稲城市東長沼 2120-6
グラン・ヴェルジェ 104
TEL.042-379-5201 (受付時間 月～金 10:00～18:00)



大会スケジュール

2015年2月1日(日)

7:00 ~	開門
7:30 ~ 9:00	全クラス受付 (メイン会場内受付)
8:45 ~ 9:15	バイクコース試走可能時間 (全クラス)
9:25 ~ 9:45	開会式・競技説明会 (エリート・学生選手権以外) ※参加必須
10:01	キッズクラス 競技開始
10:02	ジュニアクラス・ビギナークラス 競技開始
10:03	エイジクラス 第1ウェーブ 競技開始 男子40代/男子50代/男子60代以上/女子/学生 OPEN 女子/シチズン
11:00	エイジクラス 第2ウェーブ 競技開始 男子29歳以下/男子30代/学生 OPEN 男子 ※制限時間と注意
11:10 ~	ビギナー・ジュニア・キッズ表彰式
11:40 ~	競技説明会 (エリート・学生選手権) ※参加必須
12:45 ~	エリートクラス女子・学生選手権女子 競技開始
13:30 ~	エリートクラス男子・学生選手権男子 競技開始
15:00 ~	表彰式/閉会式

※エリート・学生選手権を含む全クラスで9:00迄に受付を行ってください。遅刻はペナルティ対象となり、競技の安全性が確保できない場合は、出場をお断りすることがあります。

※バイクコース試走は9:00迄に出発してください。

※トランジションへのバイクセットアップは9:20までに完了して下さい。(エリート・学生選手権除く)

※召集 (アンクルバンド配布) 時間は各クラスとも**スタート15分前**となります。

※ゼッケン色 (キッズ:赤、ジュニア:橙、ビギナー:緑、エイジ第1W:青、エイジ第2W:黄)

※12:40迄にバイク最終周回に進めない場合は、第2ランへ移行して頂きます。

また、エリート競技のスタート時にはラン競技中でも、スタート地点周辺では一旦停止していただく場合があります

※エリート・学生選手権のバイクセットアップはキッズ・ジュニア・ビギナーのバイク撤収後となります。

※トランジションエリアの解放はキッズ・ジュニア・ビギナーは10:50、エイジは13:30の予定です。



競技内容・距離

【エリート男女】	第1ラン5.0 km → バイク28.8 km → 第2ラン5.0 km	制限時間 男子 100 分、女子 105 分
【学生選手権男女】	第1ラン5.0 km → バイク28.8 km → 第2ラン5.0 km	
【学生OPEN男女】	第1ラン5.4 km → バイク28.8 km → 第2ラン5.4 km	12:40 迄にバイク最終 周回へ進めない場合は、 第2ランへ移る (DNF)
【エイジクラス男女】	第1ラン5.4 km → バイク28.8 km → 第2ラン5.4 km	
【シチズンクラス】	第1ラン5.4 km → バイク28.8 km → 第2ラン5.4 km	
【ビギナークラス】	第1ラン2.0 km → バイク9.6 km → 第2ラン2.0 km	制限時間はありません
【ジュニアクラス】	第1ラン2.0 km → バイク9.6 km → 第2ラン2.0 km	
【キッズクラス】	第1ラン1.0 km → バイク4.8 km → 第2ラン1.0 km	

表彰

エリート	男女別各1～6位
学生選手権	男女別各1～3位 ※学連登録者
学生OPEN	男女別各1～3位
エイジクラス男子	29歳以下、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上 各1～3位
エイジクラス女子	39歳以下、40歳以上 各1～3位 ※エイジクラスの年齢は世界戦選考基準の2015年12月31日を基準とします。
シチズンクラス	男女別各1～3位
ビギナークラス	男女別各1位
ジュニアクラス	男女別各1～3位
キッズクラス	学年別各1～3位
学連大学対抗戦	男子1～5位、女子1～3位 ※学生選手権出場者のうち、同大学内の上位3名の合計タイムを競います。
クラブ対抗戦	1～3位 (所属クラブ毎の合計ポイント制 ※要登録)

【クラブ対抗戦獲得ポイント一覧】

カテゴリー別総合順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	以降全て
獲得ポイント	20	15	10	9	8	7	6	5	4	3	1	以降全て

クラブ対抗戦は3名以上完走したクラブに、各部門の順位に応じたポイントを付与する。獲得ポイントは以下の順位に設定する。(最下位でも1ポイントを獲得できます) エリート男女総合順位, エイジ (10代男女別順位, 20代男女別順位, 30代男女別順位, 40代男女別順位, 50代男女別順位, 60代以上男女別順位), リレー総合順位, ジュニア総合順位, キッズ総合順位, ビギナー総合順位

参加賞・プリム賞

参加賞

- ①大会オリジナルグッズ (引換券を大会本部の交換窓口へお持ちください)
- ②カップ麺、グリコCCDドリンク、カリフォルニアレーズン他
- ※①はエリートクラス、エイジクラス参加者のみ
(リピーター割引対象者、2回目以降参加の招待選手は除く)

プリム賞

今シーズンより、「GONTEX マルチカラーテープ」を取り扱う株式会社ジー・オー・エヌ様がスポンサーとなりエリートクラスに「プリム賞」をご提供頂ける事となりました。

GONTEX ホームページ <http://www.gon-ff.com/>

賞金制度の内容は下記の通りとなります。

- ① エリート第1ラン男女 TOP の選手 ② エリートバイク2周目男女 TOP で通過した選手
- ※但し、そのレースにおいて男女総合順位5位以内、かつ TOP から +5%以内のタイムで完走しないと権利をチャンピオンシップに持ち越す事とします。



受付・配布物

7:30 より受付を致します。貴方のレース NO が宛名ラベルに記載されている封筒には、このプログラム（最終要項）と NO カード類、誓約書（WEB 申込み以外で未提出の方）、駐車証（お申込者の方）が同封されています。**誓約書には署名・捺印・レース NO の記載をお忘れ無いようご提出ください。**スムーズな受付にご協力お願いいたします。受付時には協賛各社からの品物などが入ったトランジションバッグをお受け取りください。参加賞受領対象者の方は、レース終了後に大会本部にてお受け取りください。荷物預かりは、選手に限り一人一点までとします。但し、貴重品はお預かりできません。

ナンバーカード・ナンバーシール

ナンバーカードはウェアの前面・背面に取り付けてください。ゴムやレースベルトの使用も可能です。（レースベルト使用の際も必ず 2 枚使用して、前面・背面につけてください）ナンバーシールはヘルメットの前面とバイク右側面に貼ってください。

※安全ピン（ゼッケン用）が必要な方は、
受付にてお受け取りください。

※ナンバーシールは剥がれないように、
乾いた状態でなるべく貼り付け面積を
大きくしてヘルメット・バイクに貼って
ください。



ヘルメット前面へ

※参加賞引換券
(対象者のみ)



バイク左側面へ

計測用タグ

召集時にお渡しするアンクルバンドには IC タグが挿入されており、こちらで皆さんのタイム計測を行っております。フィニッシュするまでは絶対に外さないでください。また、同時にお渡しするゴムも落下防止の為お付けいただくようお願いいたします。正確な計測を行うため、**IC タグの性質を理解されレースに臨んでください。レース中以外で計測場所に近づくと反応し、集計時のチェックに大きく時間を割かれてしまいます。**尚、今回のレースにおける 2 回のトランジションタイムは、全クラスともバイクタイムに含まれます。

スポーツ保険

大会保険に基づき大会中の事故を補償いたします。ただし故意、犯罪行為、麻薬などの使用、精神障害、他覚症状のない“むちうち症”または腰痛、大会直前 12 ヶ月以内の既往症と因果関係のある疾病による身体障害、地震、噴火、津波、戦争や他の争乱などは対象外となります。

- ・死亡：1,000 万円
- ・入院日額：5,000 円
- ・通院日額：2,500 円
- ・賠償責任：1 億円
- ・免責：1 万円



競技内容の変更及び中止

気象状況などにより大会開催が危険と判断される場合は、大会当日 7:00 に主催者によりコース・距離などの変更、または中止を決定いたします。大会公式ホームページ（下記 URL 参照）で周知いたします。

<http://www.calfman.jp/>

競技中に雷などで危険な状況が発生した場合は競技を中断する場合があります。その後、再スタートや中止の判断をいたします。

尚、中止・変更があった場合でも参加費の返還はいたしかねます。また、会場までの交通費の補償なども行いかねますのでご了承ください。

競技規則

http://www.jtu.or.jp/marshal/pdf/jtu_competition_rules_2006.pdf

上記の JTU 競技規則におけるランおよびバイク部分をよくお読みになり、デュアスロンの競技特性を理解した上でレースに臨んでください。

バイクに関し、特にご理解いただきたい項目を下記に記します。

バイクには前照灯・リフレクター・ベル・泥除け・スタンドなど競技に無関係な装備を取り付けてはいけません。（キッズクラス・ジュニアクラス・ビギナークラス除く）

試走も含め、規定のヘルメットの着用が義務付けられています。キープレフト：左側走行（左端から 1m コース幅の左側 1/3 以内基準）で競技する。コース右側は追い越しスペース。追い越しは後ろを確認し、前走者の右側から。センター寄りの走者には注意を与える。不安があれば「一声掛けて追い越す」と効果的。ドラフティングとは他の競技者又は車両のドラフトゾーンの中に入って走行する事。ドラフティング禁止レース（エリートクラス以外）では他の競技者の優先進路を妨害する行為（他の競技者の右側を、同一速度での走行を続ける事等）を「ブロッキング」として禁止している。ドラフトゾーンはバイク前輪の最前部を起点に後方 7m、横幅 3m（左右それぞれ 1.5 m）の範囲。ドラフトゾーンへ入れるのは 15 秒以内に追い越せるとき。危険回避の為やむを得ないときやトランジション出入口付近。

しよちゅうい

選手のみなさまへ諸注意

■ヘルメット

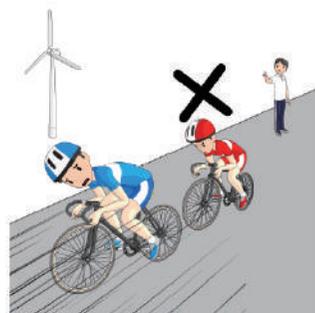
自転車(競技)では、はじめにヘルメットをかぶってストラップ(ひも)の金具をしっかりとめてから自転車をうごかしてください。



■トランジションエリア内では、自転車に乗っては、いけません。自転車を押して乗車ラインまで行って下さい。



■ドラフティング禁止
他の選手の後ろについて走るとは、禁止です。





トランジション

エリア内は競技者と特別に許可を受けた者以外は立ち入りできません。エリア内はペダル片足走行も含め乗車禁止です。ヘルメットのストラップはラックからバイクを外す前にしっかりと締め、フィニッシュ後はバイクを掛けてからストラップを外してください。前輪の先端が「乗車ラインを越えてから乗る」「降車ラインを越える前に降りる」を守ってください。エリア内でのルール遵守にご協力ください。バイクの設置方法が守られていないバイクは、選手への了承を得ずに直しますのでご了承ください。

エリート・学生選手権には専用の用具ボックス（かご）が準備されます。シューズとヘルメットは用具ボックスに入れて下さい。第1ランで使用したランニングシューズを第2ランで使用する場合は、用具ボックスに入れる必要はありません。

車検

車検はとり行いませんので、安全に走行できる状態をご準備の上、参加してください。会場内にはバイクメカニックサービス（店舗名：BACK UP）の用意がございます。心配な方はご利用ください。

バイク周回チェック

周回不足と判断した場合は非完走（DNF）となります。スタッフが周回数を数える事はありません。自己責任において規定の周回をカウントしてください。周回数が正しいかのどうかの判定は①周回チェックの計測（その場でお答えするものではありません）②各選手のタイム③サイクルコンピューターの距離 ①～③を総合的に判断し、選手が正しく周回したかを判断いたします。

折角のレースで周回ミスは残念でなりません。周回数の多いクラスは、メーターのご準備をお願いいたします。
※バイクフィニッシュで周回不足とわかった場合、周回コースへの合流地点まで、審判の指示に従いバイクを押しコースに復帰してください。第2ランスタート後に気付いてもバイクには戻れません。

水分摂取

冬の大会でも体内の水分は確実に失われています。ランコース上のエイドステーション、バイク競技中のボトルで十分な水分摂取を行って、脱水に関して防衛してください。

※ペットボトルは落下防止の為、ご使用になれません

リタイア（DNF）

大会において選手の安全を確保は最も優先する事項です。万一レース前やレース中に体調が優れない場合は「勇気あるリタイア」も選択のひとつです。安全に楽しくレースを行ってください。

リタイアする場合は必ず近くのスタッフに「リタイア」する旨とレースナンバーを報告し、アンクルバンド（タグ）を審判員にお渡しください。

競技ウェア（フロントジッパー付着用）について

●エリート・学生選手権

最高気温 10 度前後が予想されるための防寒対策として今大会では「競技中にファスナーを下げないこと」を条件に、着用を特別に許可します。競技中にファスナーを下げていた選手を発見した場合、ペナルティの対象となります。

●それ以外のカテゴリ

本ルールは適用いたしません。ただし、フィニッシュではファスナーを上げるようにしてください。



ドラフティング禁止ルールとドラフティング許可ルールについて

今回の大会は、エリートと学生選手権はドラフティング許可ルール（但し、異性間ドラフティングは禁止）、それ以外のレースはドラフティング禁止ルールで行われます。以下に、JTU ルールブックからの抜粋を引用いたしますので、エリートレースの方は第3節を、それ以外の方は第2節を熟読してください。特にエリートレースに出場する選手で、規定外のハンドルの自転車を持ち込まれた方は出場できなくなる場合も考えられますので、ご注意ください。

デュアスロンの競技規則について

(JTU 競技規則よりラン及びバイク部分抜粋)

□競技者の心得

- 1 大会は予測できないことの連続である。風、暑さ寒さ、観客や車の飛び出し、見えないくぼみ。危険を察知し、適切な判断で競技する。
- 2 日頃の練習と健康管理。早めの水分補給。マイペース。リタイヤの勇気を持つ。
- 3 ドラフトゾーンやトランジション・スペースなど「競技スペース」を守る。

□競技について

- 1 競技は車の運転と同じ＝競技者は運転手。審判員は警察官。車間距離とキープレフト。追越し車線。悪路や渋滞での減速。徐行と加速、ゆずりあいの精神で安全運転。

□ウェアと用具

- 1 バイクでは、規定のヘルメットと用具。ランではシューズを着用。
- 2 レースナンバーは、四隅を留める。全面が見えるよう気を配る。折り曲げ、変造は禁止。ナンバーベルト使用では、レースナンバーが極端に下にならないよう配慮。
- 3 サングラスは、透明度の高いものがよい。総合フィニッシュでは、サングラスをはずす。
- 4 音響・通信機器の使用は禁止。

□スムーズな競技とリタイヤ

- 1 危険・妨害行為は禁止。相手の優先コースを判断し、スムーズで安全な流れを守る。
- 2 リタイヤは、スタッフに伝え、大会本部にも連絡する。

□トランジションエリア

- 1 競技コースの一部。エリア内は乗車禁止。ペダル片足走行も禁止。
- 2 ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締める。フィニッシュ後は、バイクを掛けてからストラップを外す。
- 3 前輪の先端が、「乗車ラインを越えてから乗る」「降車ラインを越える前に降りる」。

□バイク（自転車）

- 1 バイクは体に合ったもの。
- 2 ヘルメットを深くかぶり、ストラップをあごにかかるように締める。
- 3 規制されたコースでも、交通規則を守る。表示板、コーン、大会スタッフ、競技役員の指示に従い競技する。
- 4 《前方注意・車間距離の確保》は、重要な義務。転倒や急ブレーキ、相手の動きに注意。エアロバーでは、視界が狭まりブレーキが遅れる。
- 5 キープレフト：左側走行（左端から1m、コース幅の左側1/3以内基準）で競技する。コース右側は追い抜きスペース。
- 6 追い越しは、後ろを確認し、前走者の右側から。センター寄りの走者には注意を与える。不安があれば「一声掛けて追い越す」と効果的。
- 7 ドラフティング走行・集団走行・併走は禁止。



<ドラフティングルール>

- 1 ドラフティングは、他の競技者又は車両のドラフトゾーンの中に入って走行する事。ドラフティング禁止レースでは、他の競技者の優先進路を妨害する行為（他の競技者の右側を同一速度で走行を続ける事等）を「ブロッキング」として禁止している。
- 2 ドラフトゾーンは、バイク前輪の最前部を起点に、後方7m、横幅3m（左右それぞれ1.5m）の範囲。車両ドラフトゾーンは、車両の最前部の中心を基点として後方35m、幅5m（左右それぞれ2.5m）の範囲。
- 3 自転車幅は2m以内。エリート、一般とも2台半から3台分の車間距離をあける。
- 4 ドラフトゾーンへ入れるのは、15秒以内に追越せるとき。危険回避のためやむをえないときやランジション出入り口付近。

<バイク追越しの決まり>

- 1 安全に素早く追い越せると判断したら、後方確認、右手を挙げ、右側から追い越しに入る。センターラインは越えない。
- 2 追い越したら、再度後ろを確認。左手で合図し、キープレフト走行に戻る。
- 3 追い越し中は、《追い抜く意志を持って、前進している》ように見えなければいけない。ピタリと接近し、静止しているように見えると、規定タイム内でも警告を受ける。
- 4 前輪先端が、先行する前輪の先端よりも前に出たときに「追い越した」と見なす。
- 5 追い越されたら、すぐ抜き返したり、背後に付いてはいけません。後退しているように見えなければ注意を受ける。15秒以内に後方5mまで下がる。

□ラン（ランニング）

- 1 第1ラン、第2ラン共にキープレフト（左側）で走る。マイペースで、一休みもできる。
- 2 追越しは前走者の右側から。
- 3 同伴/伴走フィニッシュは、禁止です。

□エイドステーション

- 1 スタッフは、止まって渡し、走らない。競技者が注意して受け取る。
- 2 エイドステーション以外での支援は禁止。
- 3 水、CCDドリンク、バナナが用意されております。

今大会のバイクコースにエイドステーションはありません。各自バイクボトルなどに補給ドリンクをご用意ください。
(ペットボトルは落下防止の為、ご使用になれません。)
スタート前にエイドステーションで補給可能です。
エイドステーションは、フィニッシュ及びランコース上にあります。



エリートクラス・学生選手権男女ハンドル規定

エリート、学生選手権男女は、ドラフティング走行許可大会（但し、異性間ドラフティングは禁止）となります。DHハンドルに規定がございますので、各自、規定に沿ったハンドルを装着願います。なお、規定に反した自転車での参加は認められませんのでご注意ください。エアロバーは装着しなければならないものではありません。

下記ハンドル規定外のバイクでは参加できません

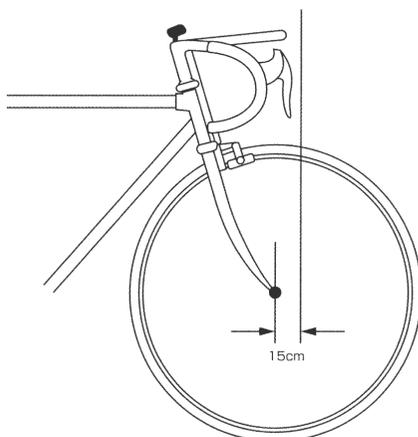
(JTU 競技規則【第8章 バイク(自転車)】より該当部分抜粋)

□エアロバー

ドラフティングレースにおけるエアロバーは、次に掲げる条件を満たさなければならない。

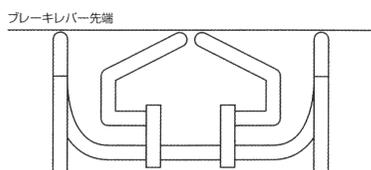
(1) エアロバーの先端は、前輪ハブ軸より15cm以上、前方に出てはならない。

(図A)



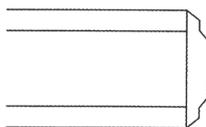
(2) エアロバーの先端は、左右のブレーキレバーの最前部を結ぶ直線より前に出てはならない。

(図B)



(3) エアロバーの先端部分が前方に向いている場合は、先端を連結しなければならない。

(図C)

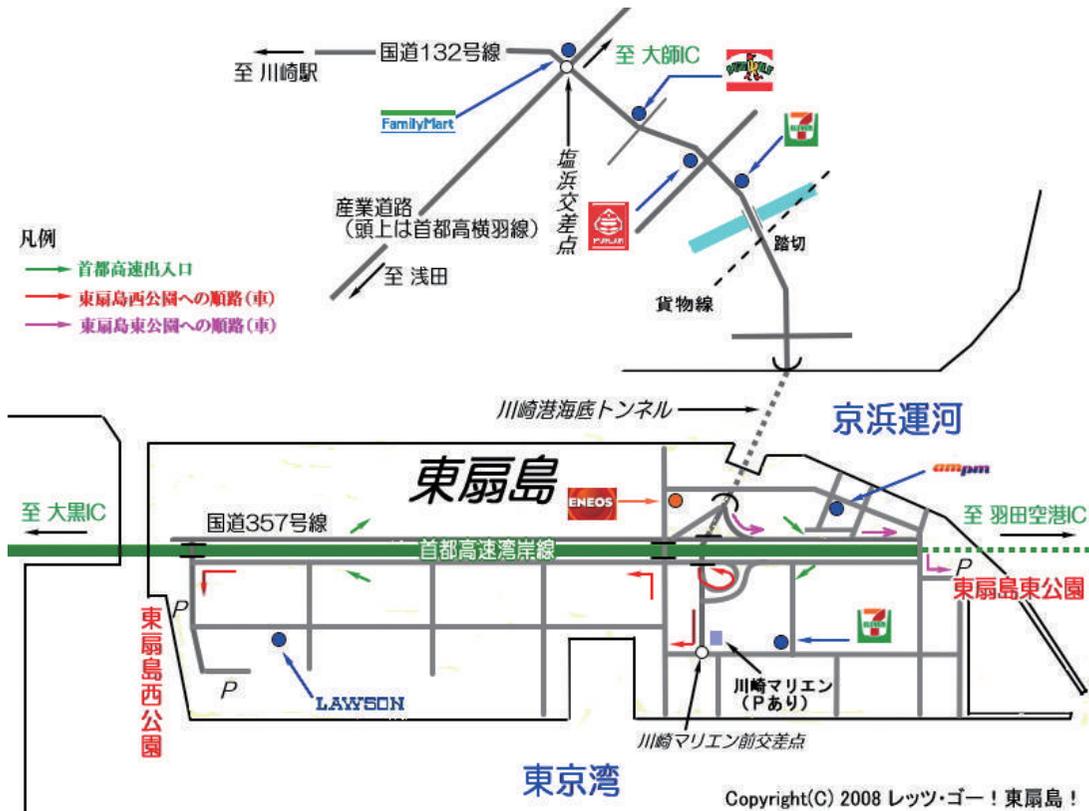


(4) エアロバーの先端部分にシフトレバーなど突起した部品を装着してはならない。



会場までのアクセス方法

会場は、川崎市の一帯東京湾よりにある因り人工島、扇島の東端にある**東扇島東公園**です。



1. 会場への交通機関

●公共交通機関の場合

川崎駅東口 12 番乗り場、市バス「川 05 系統・東扇島循環」に乗り、30～40 分で「東扇島東公園」下車。降車地点の歩道の足下に案内が出ています。バスの進行方向最初の交差点に東公園の正面入口があります。公園内の【渚の休憩所】が大会本部となります。

●お車の場合

○首都高利用の場合は、東扇島出口を出て、国道 357 号線を東進して下さい。

つきあたりの T 字路が東公園です。

※東京方面から首都高を横浜方向に利用して東扇島ランプを出ると、国道 357 号線を西進する方向に出ますので、約 500m 直進（西進）して最初の信号のある交差点で右折、首都高をくぐって、反対側にある国道 357 号線の東進路に入り東向きに戻して下さい。

○川崎市街地方向から川崎港海底トンネルを利用する場合は、海底トンネルを抜け出た最初の分岐点を左に入り、左カーブの坂道を上って行くと国道 357 号線東向きに合流します。

T 字路まで直進して下さい。その T 字路を右折し、最初の交差点を公園に沿って左折すれば、すぐに駐車場のゲートが見えます（ここは一般車両の「出口」になります。）

さらに 300m ほど進むと【選手駐車場】がありますので、係員の誘導に従って下さい。

●輪行の場合

川崎駅等の最寄駅から**会場まで自転車でのご来場（自走）は、お勧めいたしません。**

自転車通行不可の海底トンネルがありますので、歩行者専用トンネル（人道）を自転車から降りて通行していただくことになります。 ※年に数回の死亡事故が発生していますのでご注意ください。



2. 駐車場について

- 大会会場に自動車でお越しになる場合、**同封されている「駐車証」**をご提示いただきます。
大会指定駐車場をご利用頂きますので、警備員の許可に従って入場をお願いいたします。公道及び港湾道路などへの不法駐車・迷惑駐車はされませんようお願いいたします。
- 駐車料金を未払いの方は、本部受付にて 500 円をお支払い下さい。
- 事前に申込され、駐車許可証のある車両しか駐車場をご利用いただけません。申込をお忘れてしまった方は、大会事務局へご連絡ください。
- 駐車場のご案内



※駐車場は A, B 2 箇所ございます、駐車許可証をご確認ください。

○選手用「A 駐車場」についての注意事項

- ・7:00 開門後は、退場についての時間制限はございませんが、公園内の運転はくれぐれもご注意ください。
- ・公園内は徐行、芝生への車両の立ち入りは厳禁です。

○選手用「B 駐車場」についての注意事項

【入場時の注意点】

バイクコース試走・設営のため、**8:45** 迄に入庫をお願いします。
(8:45 にゲートを封鎖します。)

ゲート閉門後の入場は出来ませんので、早めの入場をお願いします。

【退場時の注意点】

エリートクラスのバイク競技終了まで移動は出来ません。

競技終了後の退場の際には、係員の指示に従ってください。

●駐車証をお持ちでない方（応援等も含む）

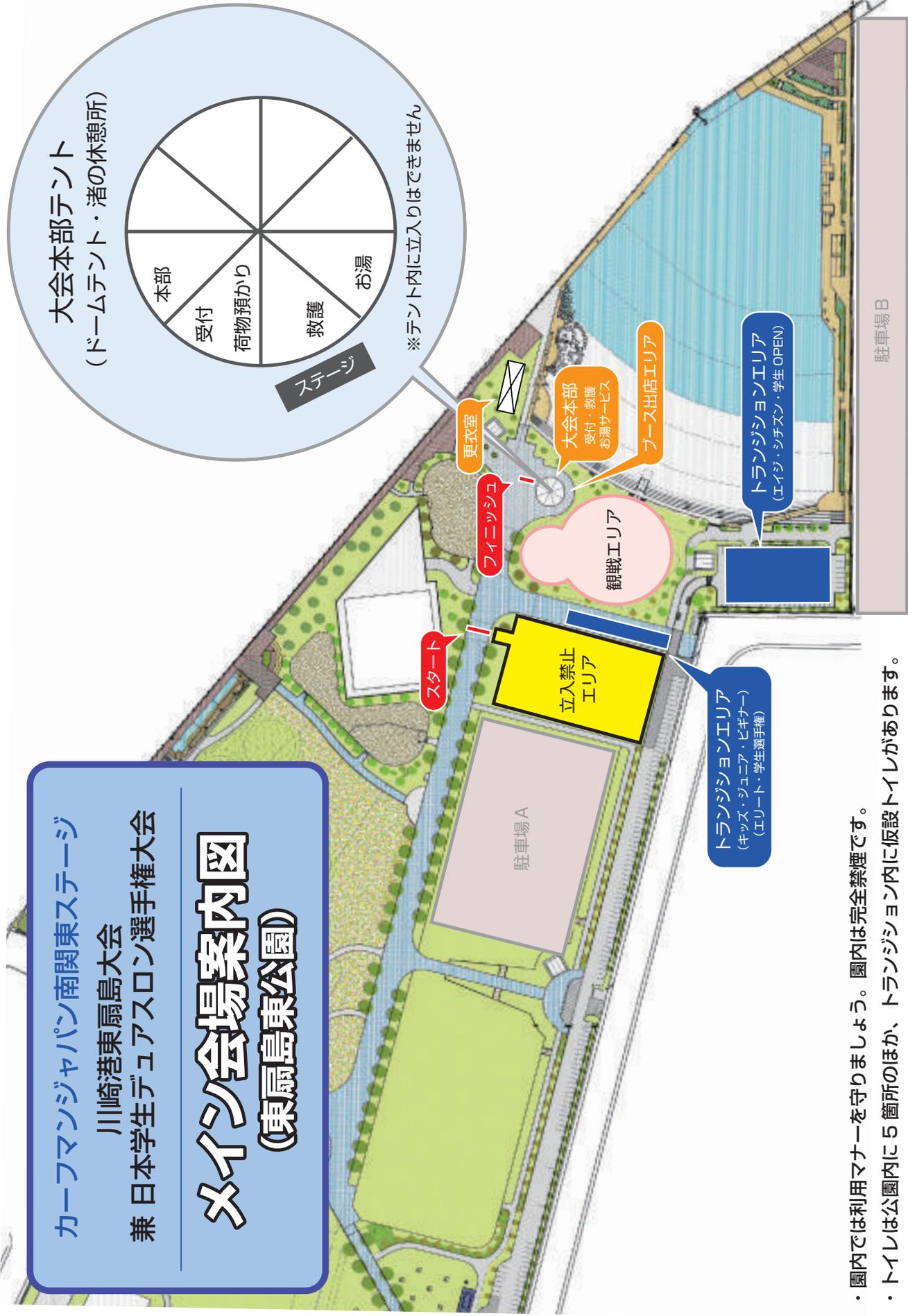
公園内の有料駐車場の利用は避け頂き、**川崎マリエン駐車場**をご利用下さい。

カーフマンジヤパン南関東ステージ

川崎港東扇島大会

兼 日本学生デュアスロン選手権大会

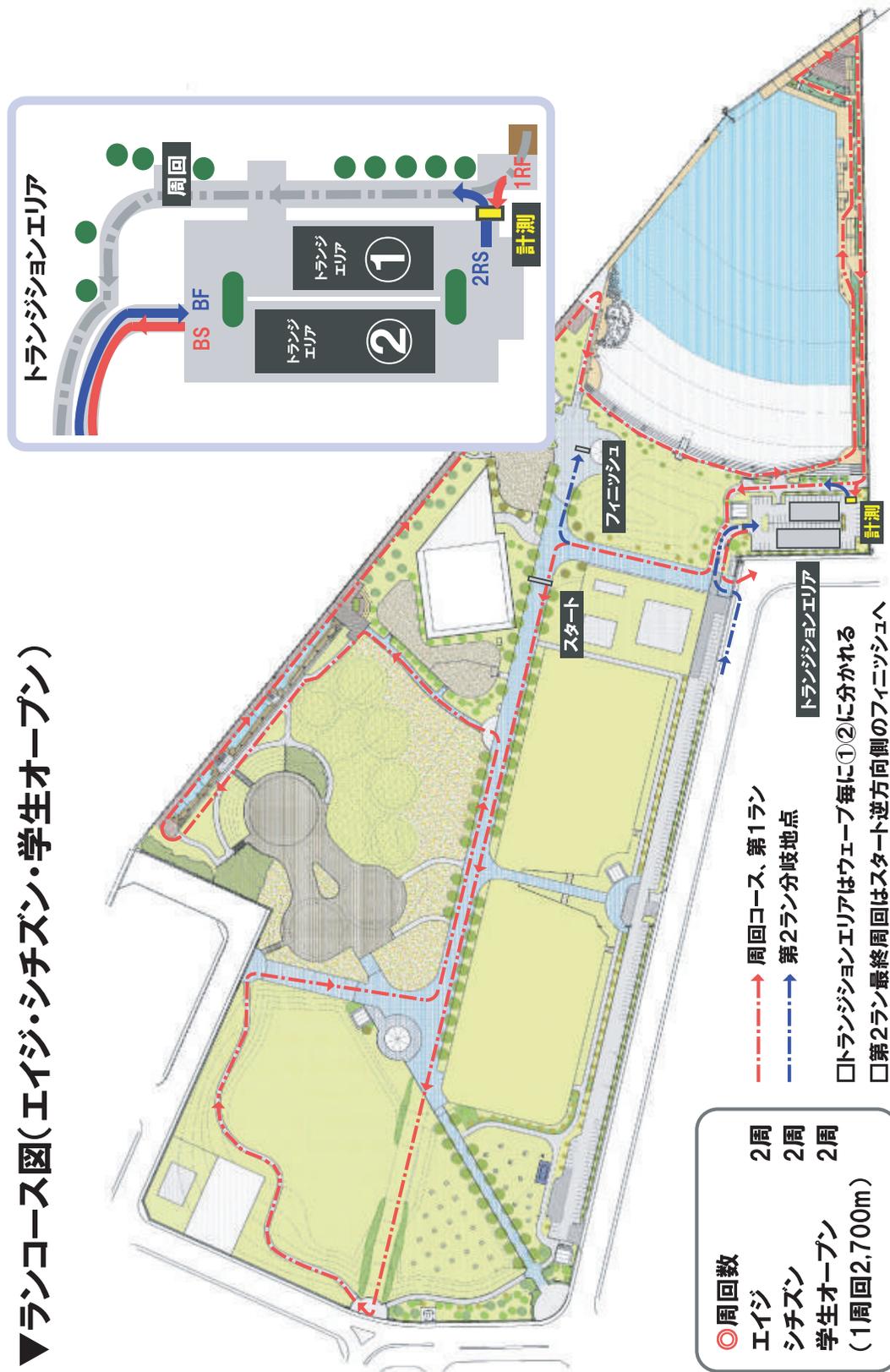
メイン会場案内図 (東扇島東公園)



- ・園内では利用マナーを守りましょう。園内は完全禁煙です。
- ・トイレは公園内に5箇所のほか、トランジション内に仮設トイレがあります。



▼ランコース図(エイジ・シチズン・学生オープン)



- ◎ 周回数 2周
- エイジ 2周
- シチズン 2周
- 学生オープン 2周
- (1周回2,700m)

- 一周コース、第1ラン
- 第2ラン分岐地点

- トランジションエリアはウェーブ毎に①②に分かれる
- 第2ラン最終周回はスタート逆方向側のフィニッシュへ



- 最終周回後、折返地点②を折返してからトランジションへ
- 乗車ライン・降車ラインを順守し、カーブでは減速